

2024年度 入学試験問題 (第1回 A)

国語

注意事項

1. 試験時間は 50 分間です。
2. 問題は 1 ページから 11 ページまであります。
3. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

【一】次の——線について漢字は読みをひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- ① 俳優になりた^いい。
- ② 災害時に物資を供給する。
- ③ 同じような店が乱立している。
- ④ 市長選挙に立候補する。
- ⑤ 命の尊さを学ぶ。
- ⑥ カンバンを立てる。
- ⑦ 穀物をキンユする。
- ⑧ ヒョウジュンサイズよりも大きめだ。
- ⑨ カブトムシのヨウチュウ。
- ⑩ 池でカメをかう。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「推し」には、推す「自分」と推される「対象（世界）」が存在します。「推し」とは、①自分だけでも対象だけでも成立しない、それらの「関係性」であるといえます。世界は自分と他者やモノで存在しています。自分は自分だけで生きているのではなく、他者やモノとの関係性のなかで生きています。たとえば心理学や認知科学などは、そのような世界で生きている人間のこのころについて探究してきました。それらの学問では、感覚・知覚・学習・記憶・言語・思考・情動・対人関係などについて、人間はどのように外界の情報を処理して、世界をどのように認識しているのか、深く詳細に研究されています。しかし、「推し」を推すように、自らの働きかけで自分の内部世界とモノや他者といった外部世界をつなぐようなこと、それによるこのころの働きをとらえる概念は、あまり検討されてきませんでした。なぜでしょう？ それは、あまりにもあたりまえだったからです。外部からの情報を処理して、世界を認識できたなら、すなわちそれが世界なのだろう、と考えられてきたからです。この時、外部からの情報（物理世界）と自分の認識（見え方）にズレはありません。もちろん、たいがいのばあいはそうなのですが、私たちの世界はそんなに単純なものばかりではありません。たとえば錯覚などは、外部からの情報（物理世界）と自分の認識（見え方）にズレが生じるために起こります。外部からの情報と自分の認識がズレていて、あたりまえのことがあたりまえではないから、錯覚は不思議で不思議いのです。

錯覚は、知覚レベル（見え方）での例でした。では、もつと高次の認知活動（たとえば、事物のとらえ方や考え方など）では、どのようなズレがあるでしょう。②例をあげて見てみます。

あなたの目の前に茶碗があります。茶碗という物理情報は、あなたに茶碗であると認識され、あなたは茶碗として使用します。お茶を淹れてもらったので何気なく飲みました。「おいしいお茶ですね、ありがとうございます」と返します。目の前の茶碗は茶碗である、これが、あたりまえのズレのない世界です。しばらくして二杯目をいただく前に、「それ実は、人間国宝が作ったすごく高価なものなんです」と言われました。さっきとまったく同じ茶碗という物理情報は、あなたにすごく高価でありがたい茶碗であると認識され、あなたはすごく高価でありがたい茶碗として使用します。お茶を淹れてもらったので両手で抱えて慎重に飲みました。「素晴らしい茶碗ですね、ありがとうございます」と返します。さっきとまったく同じ茶碗なのに、あなたの行動はまるで違います。この時、最初に自分が見た外部からの情報といまの自分の認識にはズレが生じています。

物理情報である茶碗はなにひとつ変化していません。変わったのは、あなたの認識と働きかけです。③茶碗にまつわる言語情報によってあなたの認識が変わり、変わった認識はあなたによってさっきと同じ茶碗に付加されて、あなたの④茶碗に対する行動が変化したのです。

物理的なモノに、自分の認識が付加される働きかけのプロセスがある、ということを一掴目の事例はあきらかにしてくれます。あたりまえすぎて、一杯目の時にはそれに気がつかないだけなのです（一杯目の茶碗にも、ただの茶碗であるという認識は付加されているわけですが）。物理的なモノに自分の認識が付加される、そのようなところのプロセスは、気がついてみればとてもおもしろい働きです。

対象（世界）と自分の関係性において、自分がどのように対象（世界）を認識するかだけでなく、自分は認識をどのように対象（世界）へ付加していくのか？　こころと世界はどのようにつながっているのか？　あたりまえだと思われて見過ごされてきたけれど、このおもしろそうなところの働きのアプローチする研究の概念が、ごく最近、認知科学から登場しました。それが「プロジェクトン」です。

（中略）

プロジェクトンとは、二〇一五年に認知科学の鈴木宏昭先生^{すずきひろあき}によって、はじめて提唱された概念です。鈴木先生は、「プロジェクトンとは、作り出した意味、※表象を世界に投射し、物理世界と心理世界に重ね合わせる心の働きを指している」と説明しています。A、こころと世界をつなぐ働きをしているものとして、プロジェクトンという概念を「発見」したわけです。

人間は、自分を取りまく物理世界から入力された情報を受けとり、それを処理して、表象を作りだします。それは人間にとっての意味となります。けれどもこのような情報の受容と表象の構成は、人間のこころの働きの半分でしかありません。もう半分では、作りだした表象を物理世界に映しだし、自分で意味づけた世界の中でさまざまな活動をしているのです。この一連のこころの働きの、プロジェクトンです。

プロジェクトンを詳細に説明しようとすると、とにかく至極あたりまえのことからお話することになってしまいます。B、こころと世界がそのまますながっていることはあたりまえだと誰もが思っているから。でも、先ほどの茶碗の例のように、そのままがあたりまえではない時もあるとわかると、人間の不思議なこころで彩^{いろど}られている世界の新たな姿が見えてきます。

プロジェクトンの説明のために、まず基本的な枠組み^{わくぐみ}などをお話するよりも、とりあえず⑤プロジェクトンの実例として、いくつか「推し」をめぐるファン行動を見ましょう。なぜなら、「推し」を推すこと、すなわち対象への働きかけは、プロジェクトンの「こころと世界をつなぐ働き」そのものだからです。

（中略）

日曜日の夕方、子どもと一緒にアニメ『ちびまる子ちゃん』^{ちびまる子ちゃん}を観ていたら、ある時こんな話がありました（二〇二二年七月一日放送）。主人公まる子の

お姉さんは、^{さいしやうひで}西城秀樹さんの大ファンです。ある日、まる子とお姉さんが、子ども部屋のなにもない壁^{かべ}を見つめてうっとりしていました。同居しているおじいちゃんがやってきて、それをいぶかしげに見ています。ふたりは子ども部屋の壁に西城秀樹の身長と同じ高さのところへ印をつけて、あたかも西城秀樹がそこにいるかのように想像して見あげていたのです。ふたりの目の前の壁にはなにもないのに、ふたりには西城秀樹が微笑^{ほほえ}んで立っている姿が見えていたのです。ふたりからそのように説明されてもピンとこないおじいちゃんでしたが、まる子に「おじいちゃんは百恵^{ももえ}ちゃんやってみなよ」と言われ、山口百恵さんの身長に合わせた高さに印をつけた壁を見つめてみました。すると、おじいちゃんにも微笑む山口百恵が見えて、思わずうっとりしたのでした。

この回は、一九七〇年代を舞台^{ぶたい}にした物語ながら、西城秀樹という「推し」を推すお姉さんのいろいろな言動が、現代の「推し活」にも通じるということでSNSなどでもかなり話題となったようです。

ところでこれは最初、^⑥まる子とお姉さんの見えている世界が見えないおじいちゃんにとっては、ふたりの行動は理解できない奇妙^{きみょう}なものです。子ども部屋の壁にはなにもなく、うっとりする意味がわかりません。けれど、理由を説明されておじいちゃんにも同じような世界が見えてくると、おじいちゃんにとって子ども部屋の壁はさつきまでとまったく違う意味を持ちます。子ども部屋の壁に小さな印がつけられたことをきっかけに、三人はそれぞれの「推し」を壁に映し出すという働きかけをしました。

C、壁にはなんの変化もないにもかかわらず、三人にとってはうっとりできるすてきな壁になったのです。たとえばこれが、プロジェクトです。(I)

次の例を見てみましょう。二〇一九年に放送されたNHKスペシャル『AIでよみがえる美空ひばり』(AI＝人工知能)は、歌手の美空ひばりさんの過去の音源や映像を人工知能の技術で解析^{かいせき}し、デジタル映像と音声で再現した試みです。再現された美空ひばりが4K・3Dホログラム映像で等身大に映しだされ、分析の結果から再現された目や口の動きで新曲を歌い、観客に語りかけます。この企画^{きかく}はのちに、再現された「AI美空ひばり」が『NHK紅白歌合戦』にも^⑦「出演」したことで、「感動した」「冒険^{ぼうけん}では」「人格とは？」など議論百出となりました。(II)

私がこの番組を観てもっとも興味深かったのは、AI美空ひばりを実際に目の当たりにした^⑧ゆかりのある人々やファンたちが、涙^{なみだ}を流して感動していたことです。誰もが、これは本物の美空ひばりさんではない、とわかっています。(III)

これは、美空ひばりを知らない人にとっては、とても奇妙な光景でしょう。その人にはこの映像は、よくできたCG^{きあーるぎふ}だな、くらいにしか思えません。実際、美空ひばりを知らない私の子どもの感想はそうでした。けれど、偽物^{にせ}であるCGに震えるほど感動できるのは、見ている人がそこに本物の美空ひばりの

おもかけ
面影を重ねるという働きかけをしているからです。たとえばこれも、プロジェクトンです。(Ⅳ)

(久保(川合) 南海子『「推し」の科学』より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所かしよがあります。

〔語注〕

※表象……頭に思えがかれるもの。観念。

問1 A C に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～キの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

アでは イ しかし ウ つまり エ そして オ だから カ たとえば キ なぜなら

問2 線①「自分だけでも対象だけでも成立しない、それらの『関係性』とは、どのような関係ですか。『関係』につながるように本文中から三十五字以内で探し、最初と最後の五字をぬき出しなさい。

問3 線②「例をあげて見てみます」とありますが、本文中の「茶碗」の例はどのようなことを説明するためにあげられていますか。分かりやすく説明しなさい。

問4 線③「茶碗にまつわる言語情報」とは、具体的に何を指していますか。「茶碗」の例からぬき出しなさい。

問5 線④「茶碗に対する行動が変化した」とありますが、どのように変化しましたか。分かりやすく説明しなさい。

問6 線⑤「プロジェクトンの実例」として、誤っているものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「推し」の誕生日を祝うためにケーキを買って来て「推し」の写真の前に置いたところ、いつもと変わらないはずの写真なのに、喜んでいるように見えた。

イ 隣の席の転校生はメガネをかけていて真面目だと思ったので、勉強の話ばかりしていたが、サッカーが好きだと聞いてからはスポーツの話で盛り上がるようになった。

ウ 友だちが大切にしている筆箱をうっかり落として壊してしまい気まずくて隠していたが、勇気を出して謝ったところ許してくれたので、友だちを失わずに済んだ。

エ 好きなマンガの舞台公演に行ったところ、マンガのキャラクターと見た目も声もそっくりな俳優が演じていたので、まるでマンガから飛び出してきたように感じた。

問7 — 線⑥「まる子とお姉さんの見えている世界」とはどのような世界ですか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 山口百恵が目の前で微笑んでいる世界
- イ 壁に西城秀樹の身長と同じ高さの印がついている世界
- ウ おじいちゃんが自分たちをいぶかしげに見ている世界
- エ 西城秀樹が子ども部屋で微笑んで立っている世界

問8 — 線⑦「『出演』した」とありますが、出演にかぎかつがつについているのはなぜですか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア AI美空ひばりは生前の美空ひばりの姿は模しているものの、デジタル映像なので人間だとは言えないことをかぎかついで表そうとしているから。
- イ AI美空ひばりは映像とは言え、生前の美空ひばりにも引けを取らないほどの感動を人々に与えたことをかぎかついで表そうとしているから。
- ウ AI美空ひばりは生前の美空ひばりの姿を再現したもので、そこに人格はあるのかという問題があることをかぎかついで表そうとしているから。
- エ AI美空ひばりは生前の姿を映像化したことが人間性への冒瀆だと批判を受けたため、人間の扱いをしているとかぎかついで表そうとしているから。

問9 — 線⑧「ゆかりのある人々やファンたちが、涙を流して感動していた」のはなぜですか。分かりやすく説明しなさい。

問10 本文中には次の一文がぬけています。この一文が入る箇所を(Ⅰ)～(Ⅳ)から一つ選び、記号で答えなさい。

●作りあげられた映像と音声なのだとしつかり理解したうえで、なお激しくここを揺さぶられていることに、とても驚きました。

問11 次のア～エのうち、本文の内容と合っているものを二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 心理学や認知科学は、他者やモノとの関係のなかで生きている人間のころについて詳細に研究する学問分野である。
- イ 錯覚がおもしろいと感じるのは、見た物と見え方にズレが生じることで普段あたりまえなことがあたりまえでなくなるからである。
- ウ プロジェクションとは、物理的なモノに対して自分がそれを認識する際のころの働きにアプローチする研究の概念のことである。
- エ 人間がプロジェクションを認知する時には、対象について詳しく知った上でそのモノに関して深く考えることが必要である。

③ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

公式戦の直前、男子団体戦の立ち順で私と拓海は初めて大きく採めた。①十

一月のことだ。

十月の大会は、個人戦では拓海が五位に食い込んだが、三位以内の入賞は逃していた。さらに三人立ちの団体戦は男女それぞれ四組をエントリーしたものの、全て予選敗退と（a）芳しい成績は挙げられなかった。

『初矢を外さない奴を大前に置きたい。初矢的中率が一番高いのは俺だから、俺が大前に立つ』

拓海は決定事項のように言った、いつものベンチで。その日も私がジャンケンに負けて、切り替わったばかりのホットの缶コーヒを口にしたところだった。

今回の団体戦は五人立ちで、各校男女それぞれ一チームのエントリーに限定されており、補欠も含めて事前に選手登録した七名しか試合には出場できない。この七名の登録選手の人選までは二年生全員で決めたが、立ち順については主将・副将に（b）一任することでミーティングは解散した。

『けど、そうしたら落ちは誰がやるの？』

五人立ちは先頭から、大前、式的、中、落ち前、落ちと呼ぶ。多くのチームで主将は最後に射る落ちを担い、後からチームを統率するのが一般的だ。なのに、拓海は主将である自分が大前に立つと言う。ちなみに女子は私が落ちを務

めることがすんなりと決まっていた。

② 木原にやらせる』

木原君は一年生で唯一団体戦のメンバーに選ばれた男子だった。

『五人立ちの公式戦に初めて出るのに、落ちなんて無理だよ』

③ 私は抵抗した。実際に、七人しか無い登録枠を二年生八人、一年生九人の合計十七人で男子は争った。的中記録をつけている『正規練習』の直近二週間の成績と公式戦の結果などを踏まえて二年生で話し合った。この話し合いの場でも、拓海は木原君を強く推し、登録枠にねじ込んだ。お陰で二年生から二人が出場登録枠から漏れてしまった。

『無理かもしれないけど、無難に式的や落ち前じゃあ意味がないんだ。木原には俺の次の主将をやってもらおうつもりだから。今年から大きな役割を経験させたい』

『……、ただでさえ一年生唯一の登録選手で周囲のヤツカミとかもあるのに』
『木原はこの程度で潰れる奴じゃない。もし潰れたなら、それまでつてことさ』
拓海は冷たく言い放った。

『なんか、森川君らしくない。……そんな立ち順、誰も納得しないと思う』
気が付いたら私はそう言っていた。自分の声を聴いて、その突き放した言い方にハツとした。慌てて横に座る拓海を見ると、暗くなった空を見上げて黙っていた。

私も黙って拓海の横顔を見つめた。横から見ると彫りの深さや睫毛の長さが

余計に目立つ。しばらくすると拓海は小さく溜息をついた。

『俺、どうしても勝ちたいんだ……。部のみんなに色々無理をさせてるって分かってる。練習メニューも大幅おおはばに変えたし、有志だけって言いながら、ほとんどの部員を朝練に付き合わせてる。だから、どうしても勝って、みんなと喜びたいんだ。そのためには多少乱暴でも、勝てる方法を追求したい』

拓海が必死なのは私も良く分かっていた。しかし、実際に反発する部員も何人かいて、それをなだめて回るのは私の役割だった。

『けど、けどね。部のみんなが森川君と同じように思ってるとは限らないよ。そりゃあ、みんなだって勝ちたいと思ってる。けど、もつと純粋じゅんすいに弓を楽しみたいとか、みんなと仲良く弓を引きたいとかって考えている人もいると思う。だから、そういう人たちの気持ちも考えてあげて』

拓海は私の顔をじつと見つめていた。けれども④何も言わずに首を振った。

『悪いけど先に帰る。明日また話をしよう』

そう言って私を置いて行ってしまった。行ってしまう拓海の背中を眺めながら、ぬるくなった缶コーヒーを私はちびちびと飲んだ。拓海が角を曲がってしまふと、なぜだか⑤涙が零れた。缶を足元に置くと私はハンカチで目元を覆い、声を漏らして泣いた。私だって、拓海と同じ気持ちだよ！ と言えなかったことを後悔して。

けれど、それを言ってしまったら副将の役目を放りだしたことになる。拓海に『俺の副将』と言われて練習記録ノートを渡されたときから、自分の気持ち

を押し殺していたというのに……。

不意に誰かが私の頭をポンと叩いた。慌てて顔をあげると拓海が立っていた。

『……大丈夫か？』

大丈夫じゃないよ！ と思いながら私は首を縦に振った。

『コンタクトがズレちゃって……。けど、直ったから大丈夫。帰ったんじゃないの？』

『うん？ ああつ、遅くまで付き合わせておいて、先に帰るのはやっぱマズいなって思い直して。さ、帰ろう。明日も朝練だぜ』

拓海は私の鞆かばんを持って先に歩き出した。私は慌てて追いつくと、拓海の手から鞆を受け取った。

『今日、沢村の番だったよな？ ノート。あれに、⑥沢村が良いと思ってる男

子の立ち順を書いてみてよ。それを見てもう少し考えるから……』

拓海は前を向いたままそう言った。

『沢村が色々調整してくれてるのは知ってる。バラバラになりそうな部がなるとかまとまってるのは、沢村がフォローしてくれてるからだって、分かっているんだ……。なんか、ごめんな、我がままばっかで』

⑦また涙が出そうになった。慌ててハンカチで目元を押さえる。

『なんだ、またコンタクトがずれたのか？』

『だっ、大丈夫だって！』

強がって、そう言うのが精一杯だった。

その晩、四冊目も終わりの方まで埋まりつつあるノートを隅から隅まで読み直した。一冊目の頭から、四冊目の終わりまで、選手ごとの状態を順に読み解いていくと、拓海の言わんとしていることがだんだんと分かってきた。

改めて拓海が付けた日と、私が担当したそれとを比べてみると、見ているところがまるで違うことが良く分かる。拓海は細かに射形を観察している。

和弓の射法は、流派によつて多少の違いがあるが『射法八節』と言い、立つ位置を定める『足踏み』、矢をつがえ姿勢を整える『胴造り』、弦に右手の指をかける『弓構え』、弓を頭の上まで上げる『打起し』、弓を左右均等に引き絞る『引分け』、弓を完全に引き絞り狙いを定める『会』、胸を大きく開き矢を放つ『離れ』、離れのまま姿勢を崩さず矢所を見定める『残心』の八つで構成されている。

この八節に沿つて、拓海は部員一人ひとりの癖を観察し、しかも自由練習、正規練習、練習試合と場面による違いまで見つけている。自由練習では的中率の高い部員でも、記録を付ける正規練習だと的中率が下がったり、学校の道場では安定しているのに、他の道場では結果が出ない部員など、それぞれの特徴が良く分かる。

対して、私が書いているのは練習中はもちろん、休み時間なども含めて部員たちと何を話したのかという内容を中心に、気持ちの上がり下がりなど、会話中の気になる点だった。もつとも、ノートに残したくないことなどは、大きめの付箋に『読んだら捨てて!』と書いて渡していたので、大事なところは記憶

で補うしかない。

結局、私なりのオーダーを書き終えたのは、明け方近くになってからだだった。寝不足のまま朝練に行き、ノートを拓海に渡した。(c)「瞥すると『大前が俺で、木原は式的か……』と小さく言つた。つづけて『理由を教えてください』と。

『木原君の育成が目的だったら、森川君の立ち居振る舞いを一番近くで見られる位置がいいと思つて。あと、初矢を外さない人を大前につけて森川君の意見は、それもそうだなと思ひ直した。それに森川君を落ちにしちゃうと、どこを木原君にやつてもらつても、森川君のことを見られないでしょ?』

拓海は小さく頷くと笑顔を見せ『了解、沢村の案を採用』と答えた。

(上田健次「大学ノート」より)

※出題の都合上、一部表記を改めた箇所があります。

問1 線(a)・(c)の言葉の本文中での意味として、最も適切なものを後のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(a) 芳しい

(b) 一任する

(c) 一瞥する

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| ア 好ましい | ア すべてをゆだねる | ア ずっと見る |
| イ 思うようにならない | イ 一部をまかせる | イ じっと見る |
| ウ 周囲に認められる | ウ ある程度頼む | ウ じろりと見る |
| エ 期待していた | エ 一切を自分で決める | エ ちらつと見る |

問2 線①「十一月のことだ」とありますが、この部分以外に季節が分かる表現を二十字以内で探し、ぬき出しなさい。

問3 線②「木原にやらせる」とありますが、拓海がそう考えた理由を二つ、分かりやすく説明しなさい。

問4 線③「私は抵抗した」とありますが、それはなぜですか。理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 木原君は一年生で五人立ちの公式戦に初めて出場するため、五人の中で最も緊張する上に重要な役割である落ちに選んでしまえば、失敗して自信をなくしてしまうことが予想できるから。
- イ 木原君は一年生ながら主将が次期主将を任せようとしている存在だと部員全員が知っていたため、試合に出場させる上に落ちにまで選んでしまえば、部員の反発が大きいと予想できるから。
- ウ 木原君は唯一団体戦のメンバーに選ばれた一年生で周囲からもねたまれているため、主将が務めることの多い落ちに選んでしまえば、より周囲からの視線が厳しくなると予想できるから。
- エ 木原君は一年生の中で一番実力があり周囲にもそれをひけらかしているため、人間関係も考慮せずに公式戦のメンバーに選んでしまえば、部員に今よりも嫌われることが予想されるから。

問5 線④「何も言わずに首を振った」とありますが、それはなぜですか。理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 沢村は自分とは異なる考え方を持っていることが分かったものの、今は話がまとまりそうにないので、今話をするのはやめようと思ったから。
- イ 沢村は誤った意見に固執しているため、主将としてどのように改めさせようか考えたものの思いつかず、ひとまず時間を置こうと思ったから。
- ウ 沢村の考えにも一理あるので話を聴こうと思ったが、今日はもう時間が遅くなってしまったので自分も沢村も早く帰るべきだと思ったから。
- エ 沢村が一年間共に部活動を運営してきたにも関わらず、部の方針を理解していないため、あきれて言葉にならず態度で示そうと思ったから。

問6

——線⑤「涙が零れた」と、⑦「また涙が出そうになった」では、「涙」にどのような違いがありますか。その違いについて説明した次の文章の i に当てはまる語句を、本文中から指定された字数でぬき出しなさい。

●線⑤では、本当は i (八字) なのに、ii (五字) として反対意見の部員の考えを拓海に伝えていることが理解されないもどかしさから涙を流しているが、——線⑦では、部員を iii (四字) してきた努力を拓海は気づいていたことが分かり、安心して涙を流しそうになっている。

問7

——線⑥「沢村が良いと思ってる男子の立ち順」について、次の問いに答えなさい。

(1) 沢村が拓海に提案した男子の立ち順を答えなさい。

(2) 沢村が (1) の順にした理由を分かりやすく説明しなさい。

問8

次のア～エのうち、本文の内容と合っているものを二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 沢村は、拓海が後輩の気持ちを考えていないような冷たい発言をしたことに納得できず、突き放すように否定してしまった。
- イ 拓海は沢村と話す中で一度は先に帰ろうと考えたが、遅くまで付き合わせたことを思い出し一緒に帰るために戻ってきた。
- ウ 拓海は部活のノートに部員の射形を書き、沢村は部員たちの気持ちが落ち込んでいる時の会話の内容について書いている。
- エ 拓海は部活に関しては自分の意見だけが正しいと考えており、公式戦の男子の立ち順についても自分の意見を通そうとした。

--

問 8	問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

三

問 11	問 10	問 9	問 8	問 7	問 6	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

二

⑥	①
---	---

一

二帝

2024 年度 入学試験問題（第 1 回 A）

算 数

注 意 事 項

1. 試験時間は 50 分間です。
2. 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。

帝京八王子中学校

1 次の にあてはまる数を入れなさい。

$$(1) 9 \times \left(\frac{5}{27} + \frac{2}{9} \right) \div \frac{1}{3} = \boxed{}$$

$$(2) \frac{2}{5} + \frac{1}{6} - \frac{4}{15} = \boxed{}$$

$$(3) 0.4 + \frac{7}{25} - \frac{8}{15} = \boxed{}$$

$$(4) \boxed{} \times 8 + 2 = 34$$

<計算らん>

2 次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) 時速 1080 km = 秒速 m

(2) 5 で割ると 4 余る 2 けたの整数を全部加えると合計で になります。

(3) 20 cm の短ざくを 3 cm ののりしろをつけてつなげていきます。全体の長さが初めて 15 m を超えるのは、 枚つなげたときになります。

(4) おかしを何人かの子供に分けると、5 個ずつ配ると 12 個あまり、8 個ずつ配ると 30 個不足します。このとき、子供の人数は 人になります。

(5) 0、1、2、3、4 の 5 個の数字が 1 つずつあります。この数字から 2 つ選んで 2 けたの整数を作ると偶数は 個作ることができます。

(6) 正七角形の内角の和は 度になります。

<計算らん>

3 3%の食塩水Aと7%の食塩水Bがあります。次の問いに答えなさい。

- (1) 250 g の食塩水Aには、何 g の食塩がふくまれていますか。
- (2) 6%の食塩水を作るには、150 g の食塩水Aに対して、食塩水Bを何 g 混ぜればよいですか。

<計算らん>

<人の番号>

4 整数を1から順にならべ、ある決まりにしたがって区切ります。

左から順に、第1組, 第2組, 第3組, ...とします。

1 / 2 , 3 / 4 , 5 , 6 / 7 , 8 , 9 , 10 / 11 , 12 , 13 , 14 , 15 / ...

例えば、4は第3組の1番目の数です。9は第4組の3番目の数です。

次の問いに答えなさい。

(1) 第8組の数のうち、もっとも大きい数は何ですか。

(2) 第17組のすべての数の和は何ですか。

(3) 2024 は第何組に入りますか。

<計算らん>

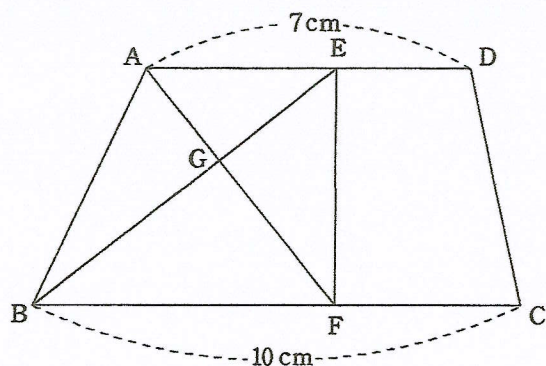
- 5 1周 900 m の池があります。この池を走って1周するには、A さんが10分、B さんは6分かかります。2人が同時にスタート地点を出発して、同じ方向に走り始めました。次の問いに答えなさい。

- (1) B さんの走る速さは分速何 m ですか。
- (2) B さんがA さんにはじめて追いつくのは、スタート地点を出発してからちょうど何分経過したときですか。
- (3) A さんとB さんが、出発してからはじめて同時にスタート地点を通過する瞬間は、A さんが何周したときですか。

<計算らん>

<人の事情>

- 6 下の図は、AD と BC が平行である台形 ABCD において、 $AE : ED = 4 : 3$ となるように点 E をとり、 $BF : FC = 3 : 2$ となるように点 F をとったものです。また、AF と BE の交点を点 G とします。このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 台形 ABFE と台形 EFCD の面積の比はどうなりますか。出来るだけ簡単な整数の比で答えなさい。
- (2) 三角形 GBF と台形 EFCD の面積の比はどうなりますか。出来るだけ簡単な整数の比で答えなさい。

<計算らん>

帝京八王子中学校

2024年度入学試験問題
解答用紙（第1回A）

算数		受験番号		氏名			
----	--	------	--	----	--	--	--

1	(1)		(2)		(3)		(4)	
---	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

2	(1)	秒速	m	(2)		(3)	枚	(4)	人
	(5)		個	(6)		度			

3	(1)		g	(2)		g
---	-----	--	---	-----	--	---

4	(1)		(2)		(3)	第	組
---	-----	--	-----	--	-----	---	---

5	(1)	分速	m	(2)		分	(3)		周
---	-----	----	---	-----	--	---	-----	--	---

6	(1)		:	(2)		:
---	-----	--	---	-----	--	---

得点	
点	点

帝京八王子中学校

2024年度入学試験問題
解答用紙 (第1回A)

算数	受験番号		氏名	模範解答

1	(1)	11	(2)	$\frac{3}{10}$	(3)	$\frac{11}{75}$	(4)	4
---	-----	----	-----	----------------	-----	-----------------	-----	---

2	(1)	秒速 300 m	(2)	1017	(3)	89 枚	(4)	14 人
	(5)	10 個	(6)	900 度				

3	(1)	7.5 g	(2)	450 g
---	-----	-------	-----	-------

4	(1)	36	(2)	2465	(3)	第 64 組
---	-----	----	-----	------	-----	--------

5	(1)	分速 150 m	(2)	15 分	(3)	3 周
---	-----	----------	-----	------	-----	-----

6	(1)	10 : 7	(2)	18 : 35
---	-----	--------	-----	---------

全問 5点

得点	
点	点